

土壌薄片記載 (2) 赤黄色土

平山良治 (川の博物館)

前報 (平山, 2017) に続き土壌薄片記載を平山 (2011) に準拠し行った。

この報告では赤黄色土を取り上げる。土壌薄片のスライドガラスが100X150mmと大型のために、記載は概略となる。

土壌断面記載がある場合は、記載者のデータに準拠。よって記載の統一は行わず、かつ、土壌名も調査者に従った。

1. 赤黄色土 1 図 1. に赤黄色土 1 の薄片を示す。

コレクションナンバー: 16

地点: 静岡県下田須崎

層位: A層

大きさ: 70x105mm

特記事項: 特になし

微細形態:

1) マクロ的特徴 チャンネル孔隙により大きく二つのファブリックに区分。共に亜角塊状構造とパッキング複合構造で、小さなチャンネル孔隙がある。

2) 微細的特徴

A. 微細構造

A-1 微細構造の型: 亜角塊状構造とバグ複合構造である。一部に被覆粒子構造がある。

A-2 孔隙: 大小のチャンネル孔隙、パッキング孔隙、バグ孔隙

B. グランドマス: c / f 比 20mm で顕著なものは認められない

C. ペドフィーチャー: 粘土質ペドフィーチャーは観察できない。

2. 赤黄色土 2 図 2. 赤黄色土 2 に薄片を示す。

コレクションナンバー: 17

地点: 静岡県下田須崎

層位: B層

大きさ: 70 x 105mm

特記事項: 特になし

微細形態:

1) マクロ的特徴 パッキング孔隙により大きく二つのファブリックに区分。共に亜角塊構造と粒状構造である。

2) 微細的特徴

A. 微細構造

A-1 微細構造の型: 亜角塊造と粒状構造である。

A-2 孔隙: バグ孔隙、チャンネル孔隙、パッキング孔隙

B. グランドマス: c / f 比 1 ~ 5mmカイトニック

C. ペドフィーチャー: チャンネル、面状孔隙に典型的半透明粘土被覆が散見される。チャンネルに準被覆の鉄の浸潤がある。

参考資料

土壌断面記載 (平山, 2006) 赤黄色土 1、2 の断面記載である。

調査地点: 下田市須崎爪木崎日本大学下田臨海実験所

堆積様式: 崩積性

層位

A層: 深さは0-10cm、層界は平坦明瞭、土色は5YR4/8 (赤褐)、構造は細粒状発達中度、細亜角塊発達強、石礫は半風化細小亜角礫有、植物根は大中小根富細根含、土性 SCL

B層: 深さは10-50cm、層界は平坦判然、土色は2.5YR4/8 (赤褐)、構造は細小亜角塊発達強、石礫は半風化細亜角礫有、植物根は大根含中小根富、土性は CL。

BC層: 深さは50-80cm、層界は平坦明瞭、土色は2.5YR5/8 (明赤褐)、構造は細小亜角塊発達中、石礫は風化・半風細亜角礫有、植物根は大根有中小根含、土性は LiC。

D層: 深さは80-120+cm、石礫は風化亜角礫頗富、植物根は大中小根有、



图 1. 赤黄色土 1 下田須崎 A 層(幅70mm)

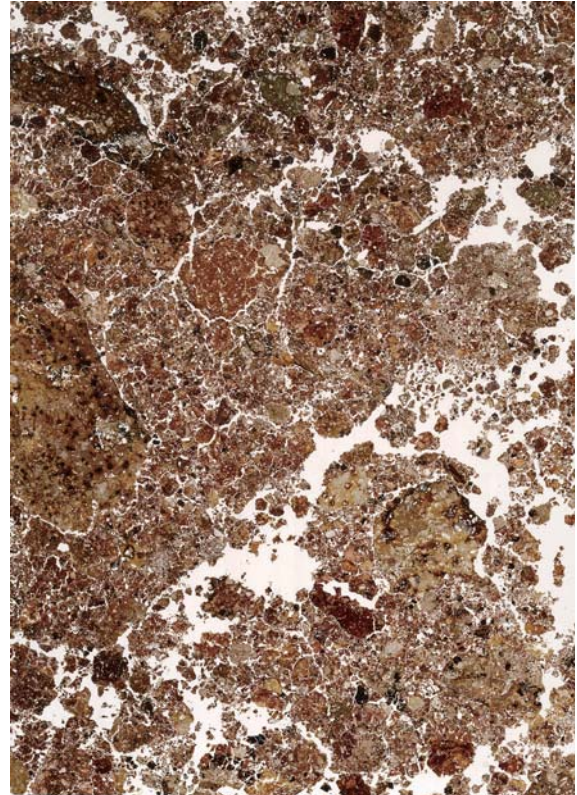


图 2. 赤黄色土 2 下田須崎 B 層(幅70mm)

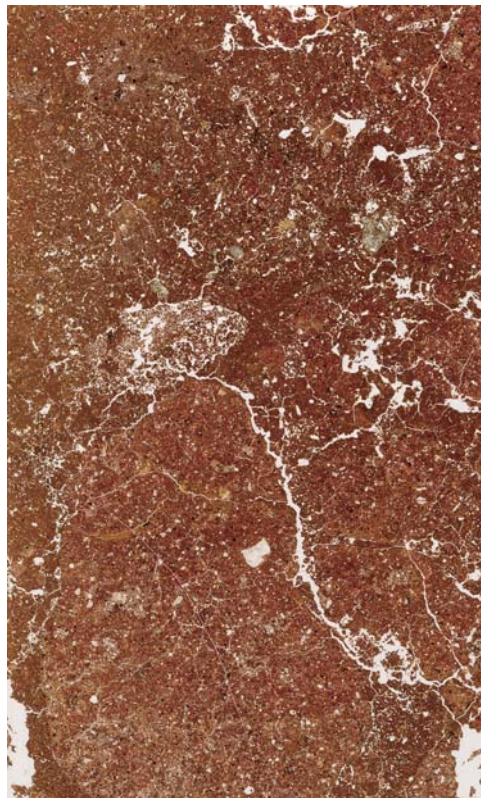


图 3. 赤黄色土 3 伊豆 B 上部層(幅70mm)

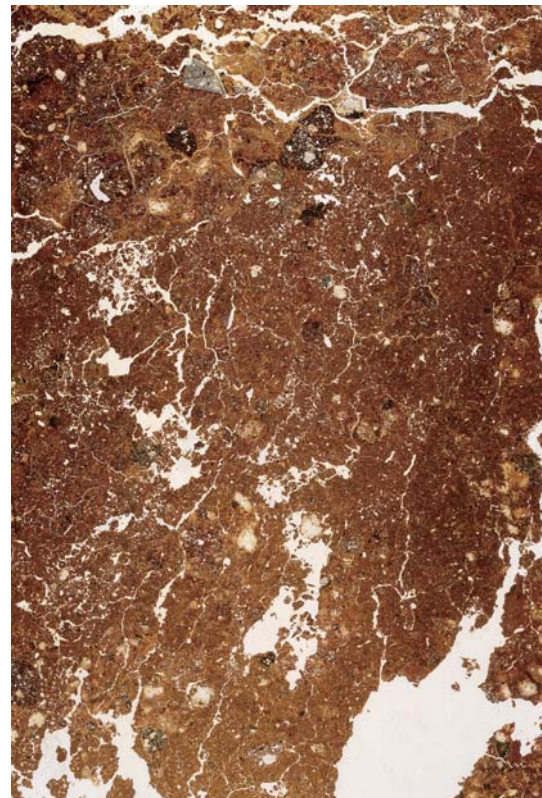


图 4. 赤黄色土 4 伊豆 B 下部層(幅70mm)

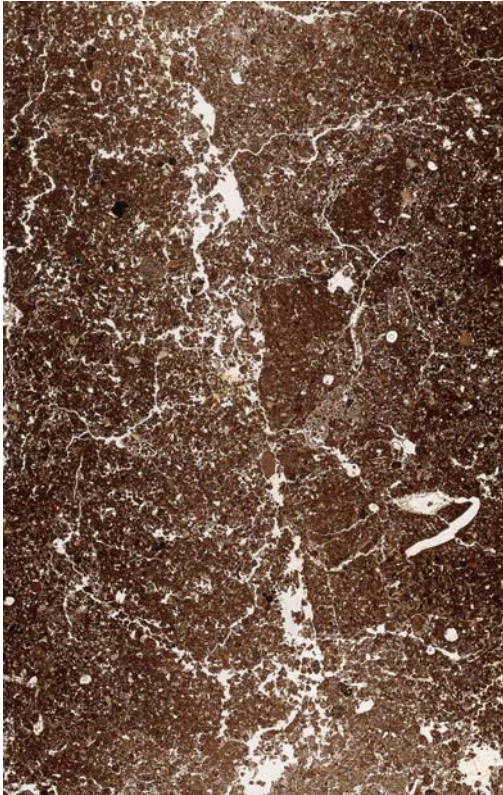


図5. 赤黄色土5北上B上部層(幅70mm)

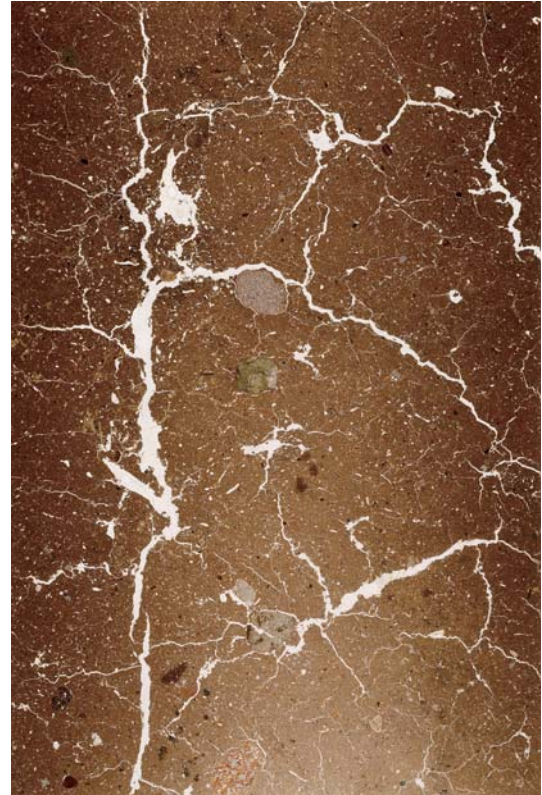


図6. 赤黄色土6北上B下部層(幅70mm)

3. 赤黄色土3 図3. に赤黄色土3の薄片を示す。

コレクションナンバー: 19

地点: 静岡県西伊豆山地

層位: B層上部

大きさ: 70x100mm

特記事項: 特になし。

微細形態:

1) マクロ的特徴 亜角塊構造と粒状構造である。

2) 微細的特徴

A. 微細構造

A-1 微細構造の型: 亜角塊構造と粒状構造である。

A-2 孔隙: 粒団内チャンネル

B. グランドマス: c/f比10mmで顕著なものは認められない

C. ペドフィーチャー: 減耗ペドフィーチャーが認められる

4. 赤黄色土4 図4に赤黄色土4の薄片を示す。

コレクションナンバー: 18

地点: 静岡県西伊豆山地

層位: B層下部

大きさ: 75x105mm

特記事項: 特になし。

微細形態:

1) マクロ的特徴 亜角塊構造と粒状構造である。

2) 微細的特徴

A. 微細構造

A-1 微細構造の型: 亜角塊構造と粒状構造である。

A-2 孔隙: 粒団内チャンネル

B. グランドマス: c/f比 10mmで顕著なものは認められない

C. ペドフィーチャー: 減耗ペドフィーチャーが認められる。チャンネル内に透明粘土被膜がある。赤色と黄褐色の重層になっているものもある。

参考資料

土壌断面記載 赤黄色土3, 4の断面記載はない。ペドロロジー学会編土壌を愛し、土

壤を守る (2007) の表カバーの絵の地点である。

5. 赤黄色土 5 図 5 に赤黄色土 5 の薄片を示す。

コレクションナンバー : 45

地点 : 宮城県北上市

層位 : B 層上部 (90cm)

大きさ : 70 x 100mm

特記事項 : 古赤色土

微細形態 :

1) マクロの特徴 亜角塊構造と粒状構造である。

2) 微細的特徴

A. 微細構造

A-1 微細構造の型 : 亜角塊構造と粒状構造である。

A-2 孔隙 : 粒団内チャンネル

B. グランドマス : c / f 比

0.5mm でポーフィリック。

C. ペドフィーチャー : インフィリングが不完全緻密から不連続まで大小散見される。

6. 赤黄色土 6 図 6 に赤黄色土 6 の薄片を示す。

コレクションナンバー : 46

地点 : 宮城県北上市

層位 : B 層下部 (110cm)

大きさ : 70x100mm

特記事項 : 古赤色土

微細形態 :

1) マクロの特徴 角塊構造とクラック構造である。

2) 微細的特徴

A. 微細構造

A-1 微細構造の型 : 角塊構造とクラック構造である。

A-2 孔隙 : 粒団間チャンネル、粒団内チャンネル。

B. グランドマス : c/f 比 1 mm でポーフィリック。

C. ペドフィーチャー : 孔隙間に典型粘土被膜、孔隙の周囲に浸潤型の被膜、減耗被膜がある。

参考資料

土壤断面記載 赤黄色土 5, 6 の断面記載

土壤型 : 赤色土

堆積様式 : 洪積堆積物

層位

A 1 層 : 深さは 0-5 cm、層界は波状明瞭、土色は 2.5YR3/3 (暗赤褐)、土性は LiC、構造は小さな粒状亜角塊、ち密度 19、植物根は細根富、中根含、半湿。

AB 層 : 深さは 5-20cm、層界は波状判然、土色は 2.5YR3/4 (暗赤褐)、土性は CL、構造は小亜角塊発達中度、ち密度 24、植物根は細中根含、半湿。

B 1 層 : 深さは 20-140cm、層界は波状明瞭、土色は 2.5YR3/4 (暗赤褐)、Mn 斑あり、土性は LiC、構造は中角塊発達中度、ち密度 24、植物根は中根有、半湿。

B 2 層 : 深さは 140-165+cm、土色は 10YR4/6 (褐)、Mn 斑あり、土性は LiC、風枯礫あり、構造は中亜角塊発達中度、ち密度 23、植物根は中根有、半湿。

引用文献

平山良治 (2006) 相模灘周辺の古赤色土について. 国立科博専報, 42 ; 247-254.

日本ペドロロジー学会 (2007) 土壤を愛し、土壤を守る. 博友社.

平山良治 (2011) 土壤薄片の土壤微細形態学的記載について. 紀要, 11 : 23-28.

平山良治 (2017) 土壤薄片記載 (1) 水田土壤. 紀要, 17 : 21-24.